

平成30年度第2回（第17回）  
ICT利活用教育の推進に関する  
事業改善検討委員会

平成30年(2018年)12月4日（火）  
佐賀県教育委員会

## 議事次第

### 開 会

#### 教育委員会挨拶

### 報 告

- 1 平成30年度の取組について（8月～11月）
- 2 ICT利活用に係る調査について
  - （1）タイピングスキル調査
  - （2）佐賀大学1年生を対象としたパソコン利用についての意識調査

### 協 議

- 1 学習用パソコンを利活用した学校の取組について
- 2 その他
  - （1）ICT利活用に関する意識調査
  - （2）その他

#### 事務連絡

### 閉 会

# 報告：ICT利活用に係る調査について

## （1）タイピングスキル調査

### □ 調査概要

（目 的） 高校1年生のタイピングスキルを把握するため、タイピング練習ソフトによる調査を行う。

（実施対象） 県立高等学校 全日制・定時制 第1学年の生徒

（調査時期） 5月（抽出）、7月

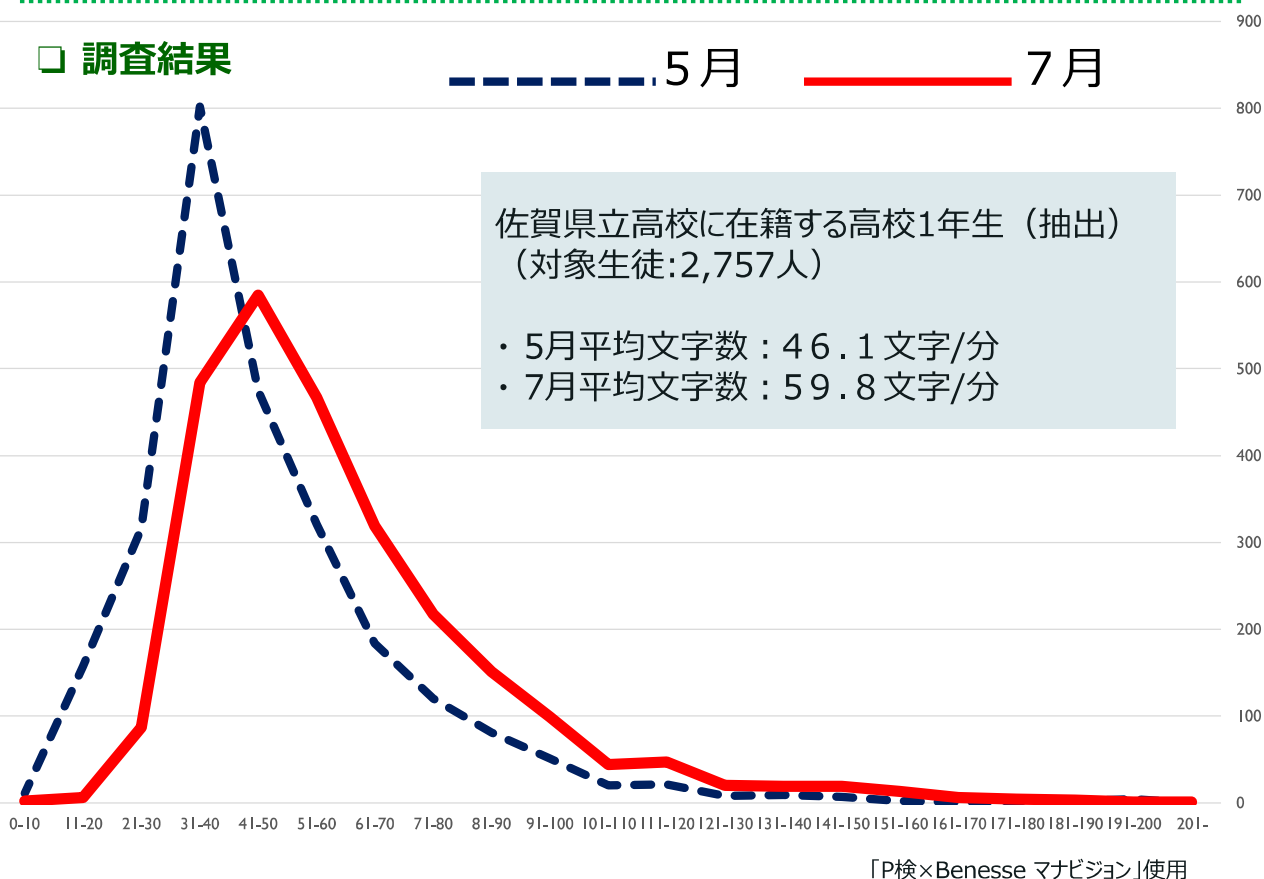
（調査方法） HP上の無料タイピング練習ソフト「P検×Benesseマナビジョン」を使用し、生徒の「入力文字数」「正タイプ率」を集約したデータを提出

（スケジュール）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月～
抽出調査		■					
抽出調査結果提出		■					
調査実施				■			
集約・提出				■			
スキル指導	■	■	■	■	■	■	■

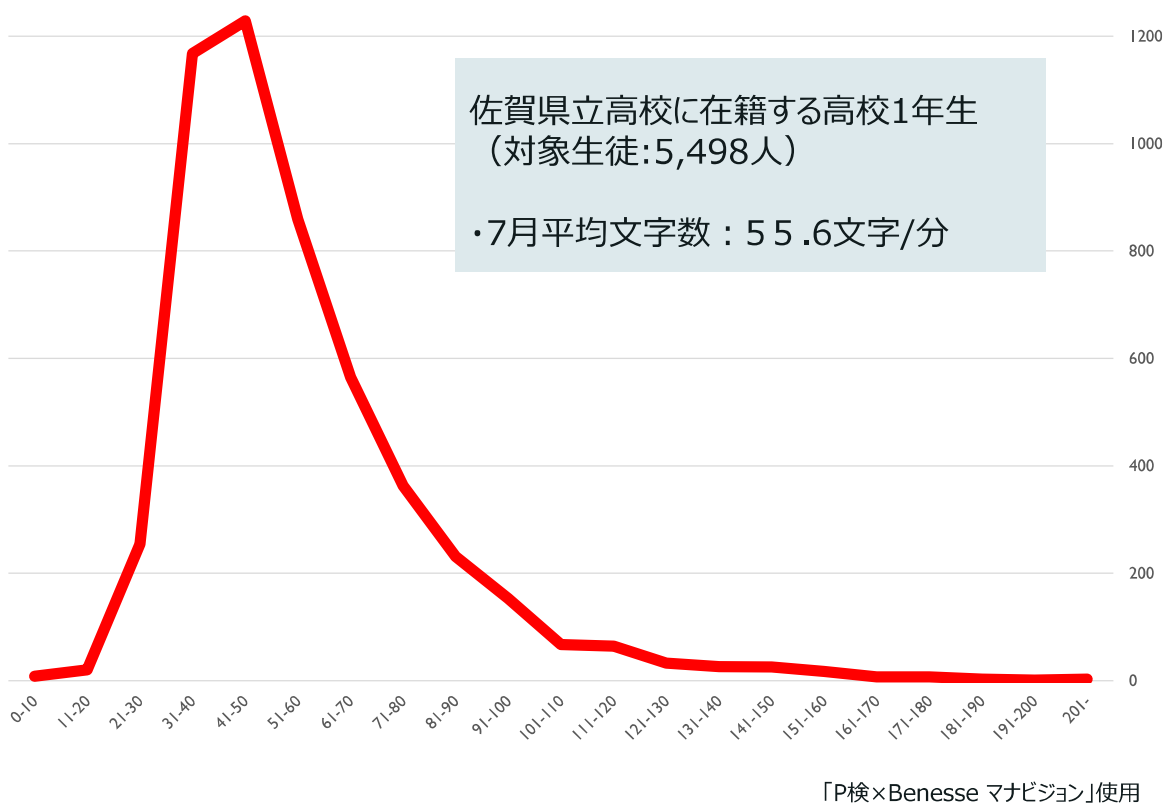
## (1) タイピングスキル調査 ー生徒の入力文字数の推移ー

### □ 調査結果



## (1) タイピングスキル調査 ー7月実施調査ー

### □ 調査結果



## (2) 佐賀大学1年生を対象としたパソコン利用についての意識調査

### □ 調査概要

(目的) 高校時代のパソコン利用が大学生活にどのような影響を与えているかについて調査を行う。

(調査対象) 佐賀大学1年生

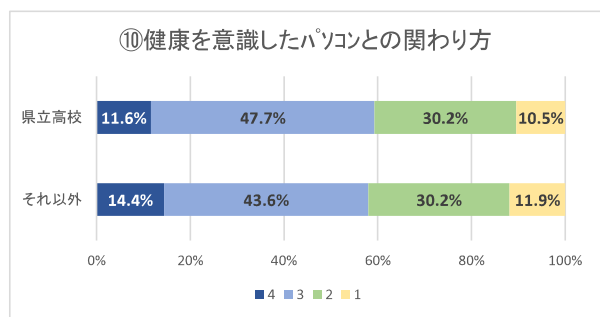
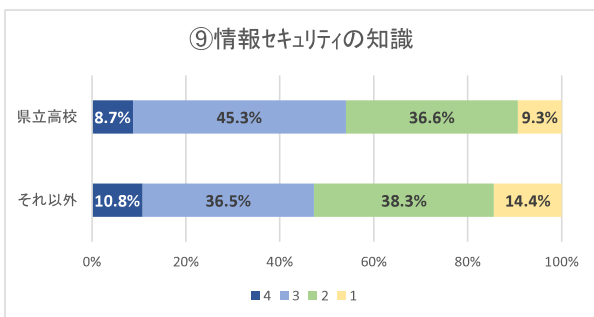
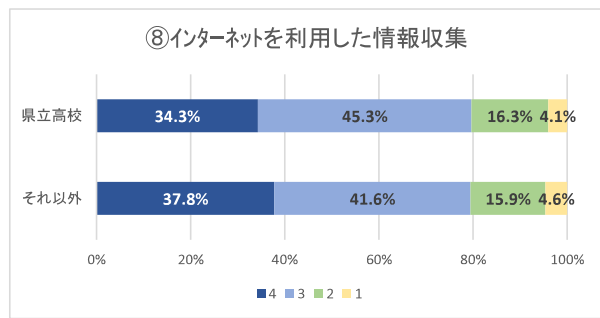
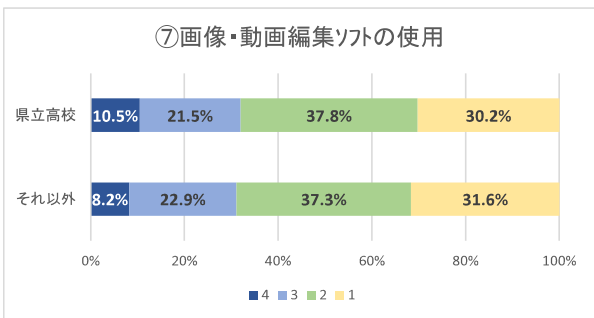
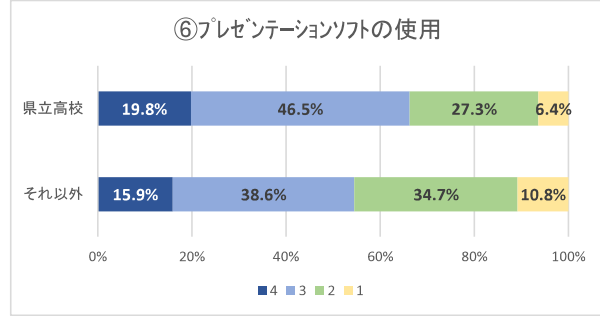
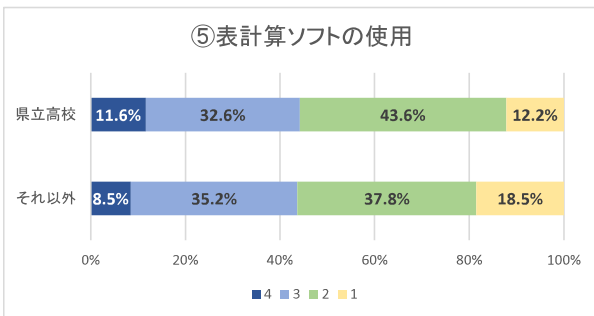
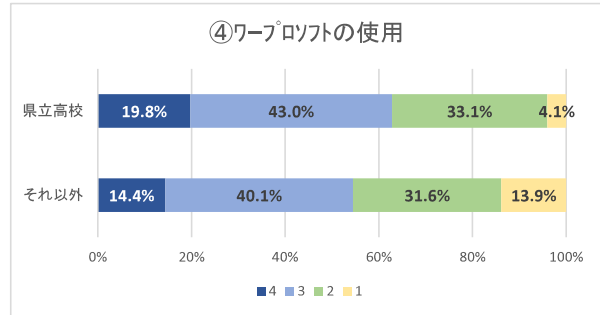
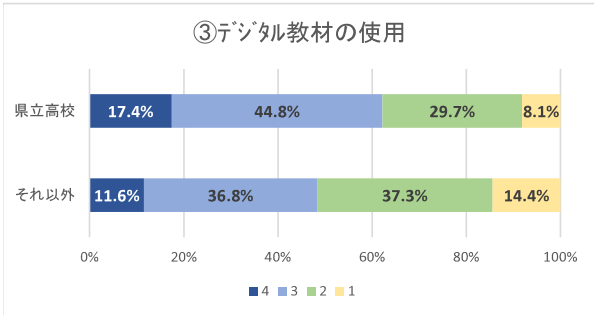
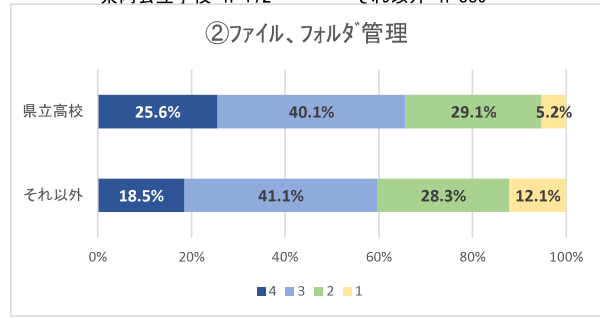
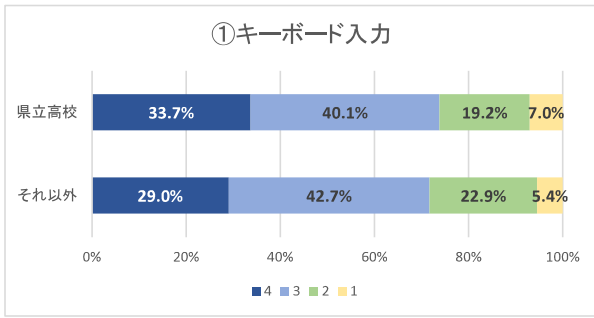
佐賀県立高校卒業 … 172名回答

佐賀県立高校以外卒業… 389名回答

(実施時期) 平成30年7月(教育学部)、10月(教育学部以外)

(調査項目) 以下の項目について、「できる(わかる)」「少しできる(わかる)」「少し難しい」「難しい」から選択

- |               |                     |
|---------------|---------------------|
| ① キーボード入力     | ⑥ プレゼンテーションソフトの使用   |
| ② ファイル、フォルダ管理 | ⑦ 画像・動画編集ソフトの使用     |
| ③ デジタル教材の使用   | ⑧ インターネットを利用した情報収集  |
| ④ ワードプロソフトの使用 | ⑨ 情報セキュリティの知識       |
| ⑤ 表計算ソフトの使用   | ⑩ 健康を意識したパソコンとの関わり方 |

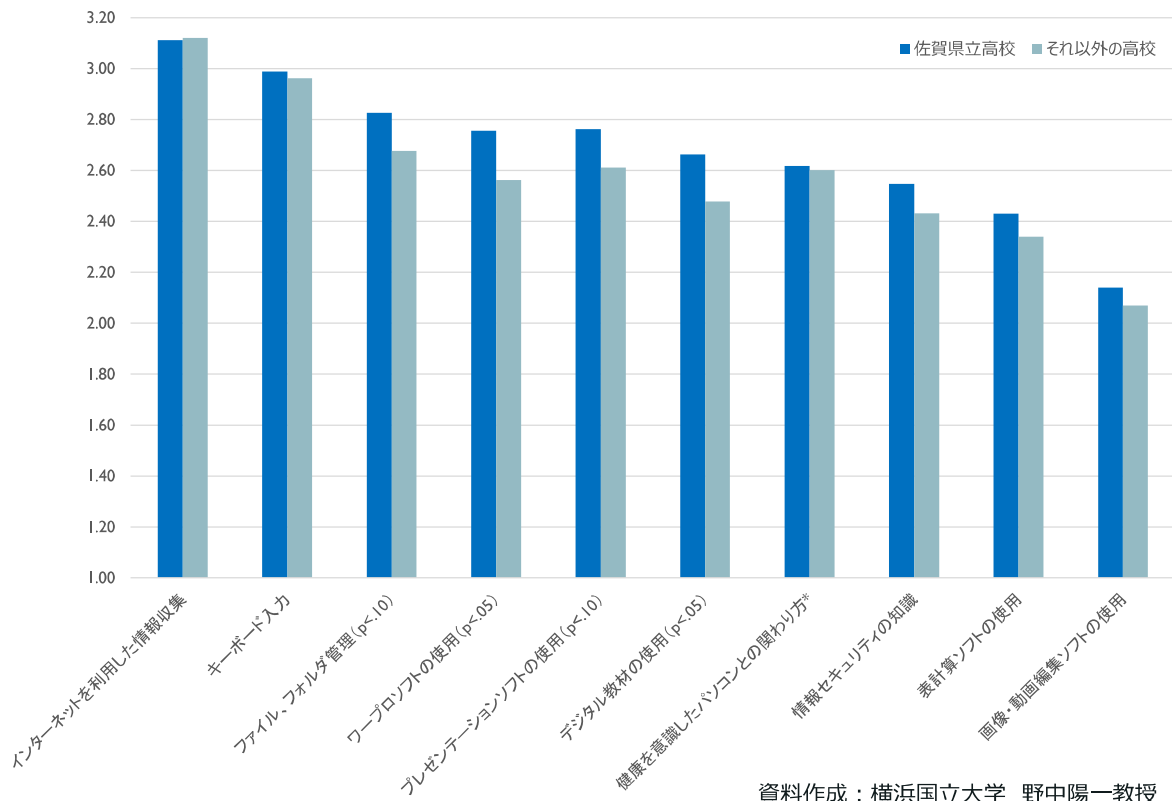


(できる(わかる)…4、少しできる(わかる)…3、少し難しい…2、難しい…1)

## (2) 佐賀大学1年生を対象としたパソコン利用についての意識調査

### □ 調査分析

できる（わかる）…4、 少しかできる（わかる）…3、 少しか難しい…2、 難しい…1



資料作成：横浜国立大学 野中陽一教授

## 協議：学習用パソコンを利活用した 学校の取組について

### 教育の情報化が目指すもの

#### 教育の情報化が目指すもの

##### 教育の情報化の3つの側面

###### 情報教育

情報活用能力の育成



###### 教科指導におけるICT活用

ICTを効果的に活用した分かりやすく深まる授業の実現



###### 校務の情報化

ICTを活用した統合型校務支援システムの導入等による効率的な校務の遂行



3つの側面を通じた  
教育の質の向上

##### 教育の情報化を支える基盤

教員の情報教育・  
ICT活用指導力向上

学校のICT環境整備

教育情報セキュリティ  
の確保



# ICT利活用教育の目指す姿

## 社会情勢 の変化

- 情報化、グローバル化などの急速な進展
- コミュニケーション能力や情報活用能力はこれからの時代に不可欠

## (国の動き)

### 佐賀県教育委員会の目指す姿

#### 生徒一人一人の 個性や能力に応じた 学習展開

#### 【ICT特性】

- 多様で大量な情報を容易にカスタマイズできる
- 時間的・空間的制約を超えることができる
- 双方向性を有する

#### 良質な学びの創造

合致

対応

### 学習指導要領改訂

- 「情報活用能力」を言語能力等と並ぶ全学習の基盤の資質・能力と位置付け
- 主体的・対話的で深い学びの実現
- ICTの特性・強みを生かした学びの質の向上

### 高大接続改革

#### 大学入学 共通テスト

英語は「読む、聞く、話す、書く」の4技能を評価する民間試験を活用

#### 高校生のための 学びの 基礎診断

生徒の思考力、判断力、表現力を測り、英語は「読む、聞く、話す、書く」の4技能を評価

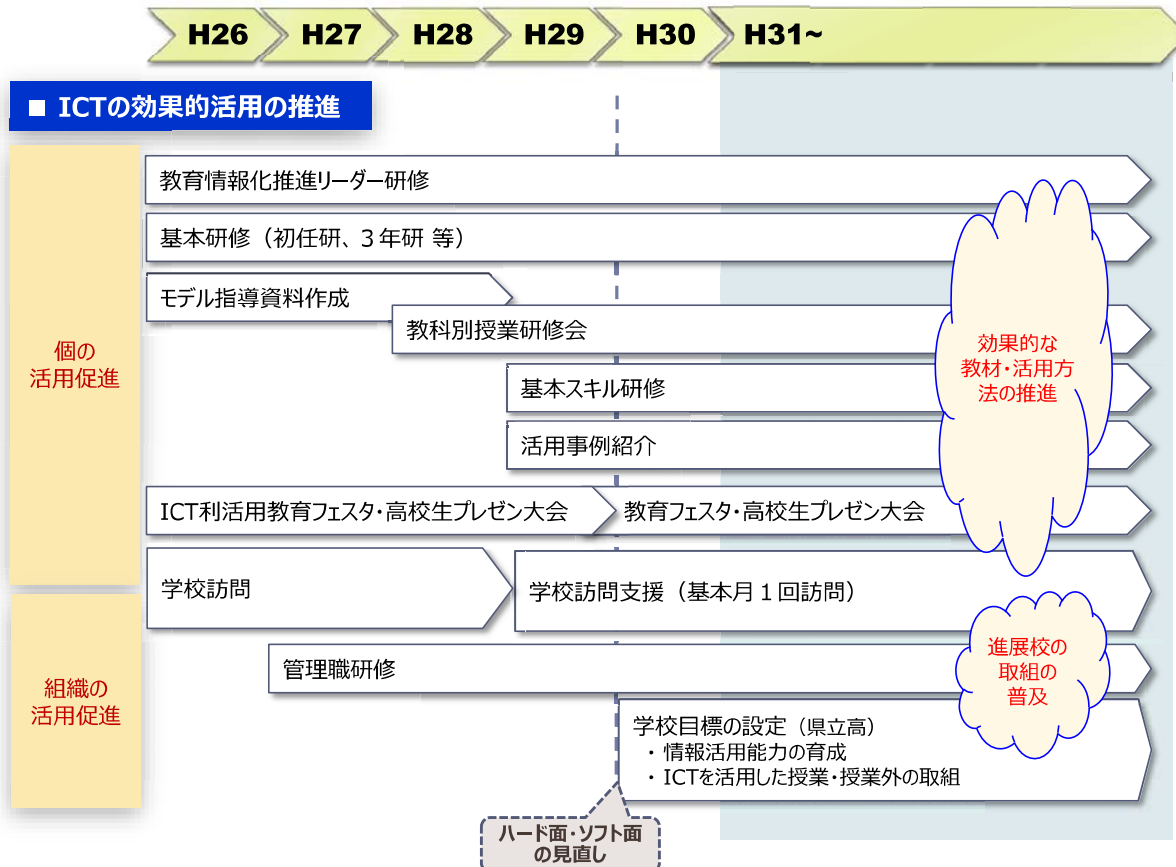
## 今後、更に進めていく学び

普通高校	共通			専門高校
授業・授業外での活用	授業での活用	授業・授業外での活用	授業外での活用	授業・授業外での活用
<b>大学入試対策</b> ・問題データベース活用 ・CBT対策 ・大学情報の収集	<b>デジタルノート</b> ・ノートとしての活用 ・ファイリング機能活用 ・検索機能の活用	<b>復習（学び直し）</b> ・自習アプリ活用 ・復習教材 ・ドリル教材	<b>キャリア教育</b> ・就職情報の収集 ・会社情報の閲覧 ・進路選択の補助	<b>就職試験対策</b> ・試験対策ドリル ・動画を活用した面接練習
<b>基礎学力対策</b> ・解説動画による復習 ・個別学習ソフト活用 ・自習アプリ活用	<b>小テスト</b> ・前時の復習 ・学習内容の定着	<b>実験、観察等での データ記録、整理、分析</b> ・データ処理 ・表やグラフで分析	<b>課外活動</b> ・学校行事 ・生徒会活動 ・部活動	<b>資格取得対策</b> ・工業系資格 ・商業系資格 ・パソコン検定
	<b>生徒の考えの共有 （協働学習）</b> ・生徒の学習用PCを 黒板で投影、共有	<b>調べ学習</b> ・生徒自らが調べる ・必要な情報を閲覧	<b>解説動画</b> ・テストの解答解説 ・実習手順の説明 ・操作手順の説明	<b>タイピング習得</b> ・情報活用能力の向上
	<b>シミュレーション</b> ・模擬による試行錯誤	<b>プレゼンテーション</b> ・調査活動 ・データ整理、分析 ・意見のまとめ表現	<b>英語4技能習得</b> ・音声認識ソフト ・多読教材 ・録音・録画機能	
	<b>アンサー機能</b> ・授業中に生徒の回答 や考えを確認			

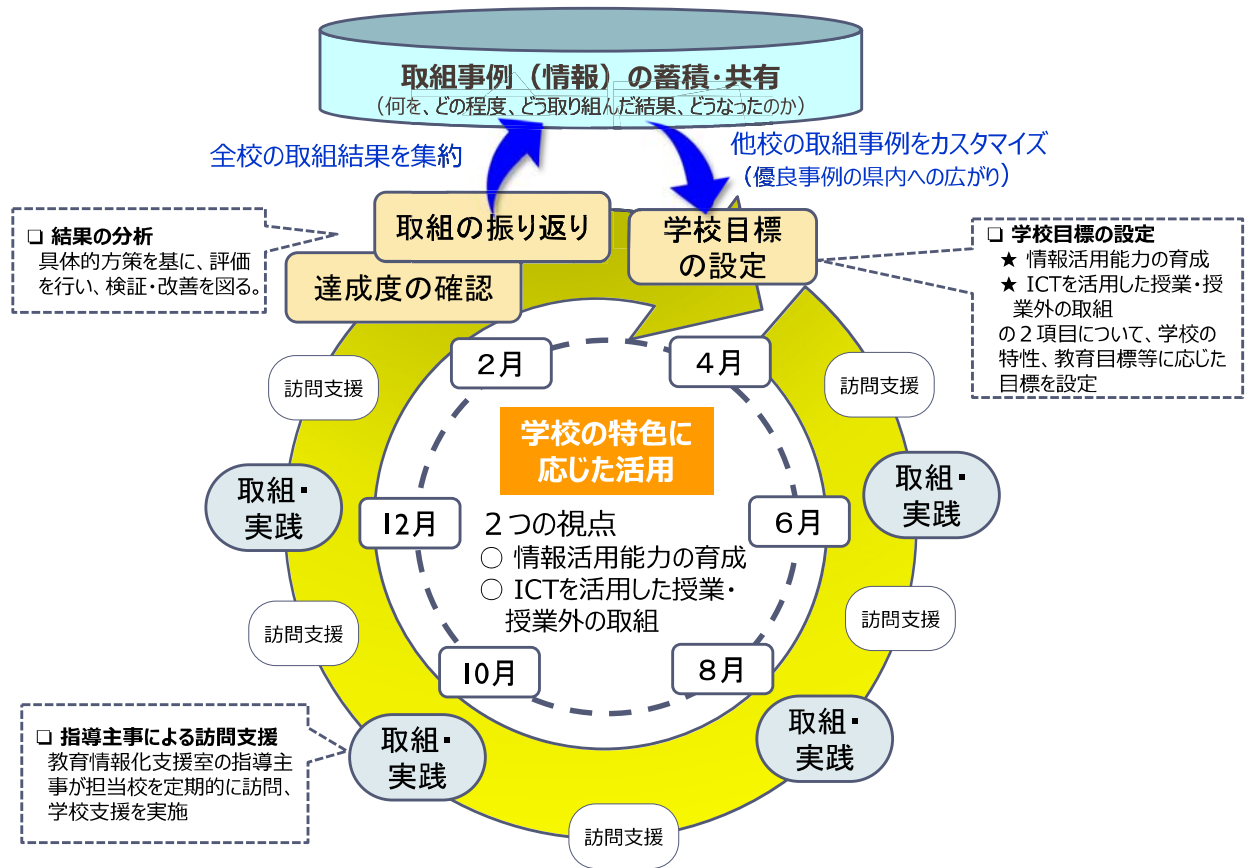
## 今後の取組

進展校の学びのカスタマイズ	効果的ソフトや教材の活用推進	効果的な活用方法の推進		その他
指導方法の工夫	デジタルノート	効果的利活用事例紹介	教職員研修の充実	ICT環境の改善
学力向上	個別学習ソフト	学校訪問支援	基本スキル研修	機器の運用方法の工夫
進学・進路指導	解説動画	全教員へのメール配信 (活用事例・課題共有)	e-ラーニング	生徒のタイピング指導
資格取得	音声認識ソフト	教材支援	教科別授業研究会	新入生基本研修
等	等	教材情報の提供		等
		活用事例紹介		等

## H31以降の進め方



# 学習用パソコンを使った学校の取組



## 学校目標の設定状況（H30）－ 情報活用能力の育成

	学校目標	設定理由
情報リテラシー	<b>タイピングスキルの向上</b> ワープロの検定で一定の水準のタイピングスキルを持つ生徒の割合 など	・学習に必要な基礎的資質・能力 ・レポート作成等の効率化
	<b>パソコン基本操作の習得</b> パソコンの利用技術検定で一定の水準に達している生徒の割合 など	・基本的なPC使用方法の理解 ・卒業後も役に立つ技術の習得
情報活用能力	<b>プレゼンテーション能力の向上</b> 課題について論理的に説明しながら発表する力を有する生徒の割合 など	・学習の基盤となる情報活用能力の育成 ・生徒の発信力の育成
資格取得	<b>各種資格の取得</b> 全国の商業高校系の検定で一定の水準に達している生徒の割合 など	・将来、実務の活用を図るため ・時代に即応できる技術の向上
主体的な学び	<b>eポートフォリオの活用</b> eポートフォリオに蓄積するための振り返り件数	・生徒の主体的な学びの定着 ・高大接続改革への対応

## 学校目標の設定状況（H30）－ ICTを活用した授業・授業外の取組

	学校目標	設定理由
学力向上	<b>資格・技能の習得</b> 英語の技能検定で一定の水準の英語力を有する生徒の育成 など	・卒業後も役立つ資格の習得 ・進路実現の一貫
	<b>オンライン・デジタル教材の活用</b> 基礎力を診断するテストの成績で一定の水準に達している生徒の割合 など	・基礎学力の向上 ・自己の学習状況に応じた学び
	<b>教科等における情報活用能力の活用</b> 教科等において、学習用パソコンを活用して、自分の考えをまとめ表現し報告する回数 など	・教科における思考力・判断力・表現力等の育成 ・意見発表等、お互いを高め合う学び
進路指導	<b>総学・課題研究での活用</b> 進路について調べたことを、学習用PCを利用してまとめ、発表することができる生徒の割合 など	・進学、就職等、自己実現に向けて ・就業時のビジネススキルの習得
教職員のスキル	<b>教師の自作教材</b> 職員のICTに関する基本的なスキルアップ向上ICTを利用した自主教材の作成数 など	・教師のICTを活用した指導力向上 ・デジタルコンテンツの確保

## 普通高校 A －情報活用能力の育成－

**学校目標**： 課題について論理的に説明しながら発表する力を有する生徒の割合

### ■設定理由

現代社会の情勢により、激動の時代を「生き抜く力」として、本質に迫る深い思考を他者に向けてわかりやすく表現しながら、他者と共同するスキルを身につけさせる。

### ■具体的方策

総合的な学習の時間に、ディベート活動やプレゼンテーション活動を取り入れ、教科横断的な学びを行うにあたって学習用パソコンを活用できるよう活動の進め方や評価基準を提示する。活動全体の観察を行うとともに、プレゼンテーションまたはその作成資料に対して、相互評価や指導者による評価を行う。その際、一貫した論理性、各場面における協同性等を重視する。

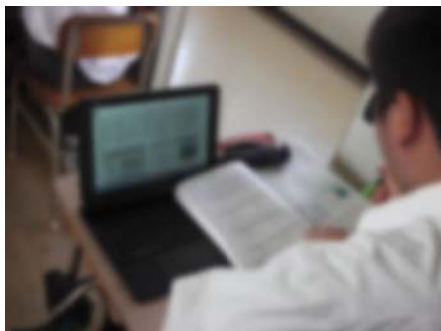


## 専門高校 B — 情報活用能力の育成 —

**学校目標** : 全国の工業高校系の検定で一定の水準に達している生徒の割合を向上させる

### ■設定理由

パソコンの基本的な使用方法を理論的・实际的に系統立てて学習し、正しいパソコン利用技術（コンピューテラシー）を身につけさせる。



### ■具体的方策

情報技術基礎の授業内容と深い関連があるので、授業において知識技術を高める。また、早朝、放課後補習も活用し過去問題や演習問題を10回以上を行い底上げを行う。

## 普通高校 C — ICTを活用した授業・授業外の取組 —

**学校目標** : 英語の技能検定で一定の水準の英語力を有する生徒の育成

### ■設定理由

グローバル化に対応できる生徒を育成する上での指標の一つとして、英語の技能検定で一定水準の級位の取得を目標として、英語学習活動に取り組み、校内一斉受験を行うなど、より高いレベルの英語4技能の習得を学校を挙げて目指している。



### ■具体的方策

授業内で、生徒が目標とする英語の技能検定試験の受験級に応じて、スピーキング、ライティング、リスニングの力を、学習用パソコンのデジタル教材等を活用することで身に付けさせる。その成果を、各回の検定や校内一斉受験、年2回の判定テストで測る。

## 専門高校D – ICTを活用した授業・授業外の実践 –

**学校目標** : 基礎力を診断するテストの成績で一定の水準に達している生徒の割合

### ■設定理由

共通教科の知識を基盤として、家庭や生活環境の中で生じる問題を解決し、よりよい社会の構築を目指す総合的・実践的な力を育む必要がある。共通教科の基礎学力を向上させることによって、より高いレベルの問題解決ができる資質・能力を育成したいため。



### ■具体的方策

学習用パソコンを利用してオンライン学習教材に取り組ませる。教師の指示したドリル・Webテストのほか、基礎力を診断するテストの結果に応じて、個々の生徒に配信される学習動画やドリルに取り組ませる。

# その他

---

## (1) ICT利活用に関する意識調査

---

(目的) 県立高校生のICT利活用に関する意識を把握するために調査を行う。

(実施対象) 各県立高等学校(全日制)第1学年から第3学年の各1学級の生徒

(調査時期) 平成30年12月末～平成31年1月中旬

(調査方法) 国立青少年教育振興機構(2017)「高校生の勉強と生活に関する意識調査」の設問16を一部変更して使用する。

(スケジュール)

区分	11月	12月	1月	2月	3月
抽出調査					
抽出調査結果提出					
調査結果集計					



# (1) ICT利活用に関する意識調査

- テストではありませんので、「正しい答え」や「間違った答え」はありません。
- 学習用パソコンや自宅でのパソコン等を含む、全てのICT機器を活用したアンケートです。
- 質問文をよく読んで、普段の生活(学校や自宅での生活)から当てはまるものの欄に○印を付けてください。

質問 1	あなたは、次のことをどのくらいしていますか。(○は1つずつ)			
	1 よく する	2 時々 する	3 あまり しない	4 全く しない
a. Wordなどの文書ソフトを使うこと	1	2	3	4
b. Excelなど表計算ソフトを使うこと	1	2	3	4
c. PowerPointなどのプレゼンテーションソフトを使うこと	1	2	3	4
d. 自分のブログやホームページを作成・更新すること	1	2	3	4
e. 簡単なプログラミングをすること	1	2	3	4
f. インターネットで学習の情報や資料を調べたり、収集したりすること	1	2	3	4
g. インターネットでニュース関連の情報をみること	1	2	3	4
h. 学習ソフトやアプリを使って勉強すること	1	2	3	4
i. 塾のホームページや動画サイトなどで講義や授業の動画をみること	1	2	3	4
j. インターネット上にある練習問題や試験対策問題を解くこと	1	2	3	4
k. インターネット上の質問サイトにわからないことを質問すること	1	2	3	4

参考：国立青少年教育振興機構（2017）「高校生の勉強と生活に関する意識調査」